

令和3年11月30日

鳥取市議会議長 寺坂 寛夫 様

議会広報委員会
委員長 西村 紳一郎

令和3年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書

このことについて、開催状況等の取りまとめを行いましたので、次のとおり報告します。

1 開催概要について

- (1) 日時 令和3年10月31日(日)13時30分～15時30分
- (2) 場所 鳥取市役所本庁舎7階本会議場ほか
- (3) 参加者 市民19名、議員31名
- (4) 日程

- ①開会
- ②議長あいさつ
- ③議会報告(15分)
- ④意見交換(ルール説明、意見交換、発表)
- ⑤アンケート
- ⑥閉会

(5) 意見交換テーマ

メインテーマ「子育てしやすいまちづくりを目指して」

- ①子育てしやすいデジタル社会について
- ②育児・保育の充実について
- ③放課後児童クラブの充実について
- ④GIGAスクール構想の取組について
- ⑤公園整備について

(6) 会場の様子

議長あいさつ



議会報告



意見交換



発表



2 議会報告会について

意見交換会の時間を確保するため、議会報告は15分程度とし、令和3年度予算と令和2年度決算について各審査特別委員会の委員長報告で取り上げた内容や新型コロナウイルス感染症に関する事業について報告しました。

さらに、意見交換に関連した事業の審査内容についても報告しました。

3 意見交換会について

意見交換のテーマは参加者の希望に応じたものとし、参加者が3名程度となるよう調整しました。議員については、担当する常任委員会が出したテーマでの配置を基本としつつ、参加者の人数等に応じ調整しました。

意見交換の進め方は、進行役議員を中心に参加者全員が発言できるよう1回あたりの発言は簡潔に、他者の発言に割り込まない、否定しない等のルールのもと、話しやすい雰囲気作りに努め、ホワイトボードや模造紙、付箋を活用しながら行いました。

参加者からは日常で感じている困りごとなどを直接聴くことができ、さらに改善するための提案などをいただき、大変有意義な会となりました。

4 今後の課題について

意見交換会の司会進行についてポストイットの活用方法や進行方法などの事前研修を行い、進行方法を統一することが必要ではないか、また、参加いただいた方の感想を次回開催時に活かすよう、アンケート様式の改善を行うなど、引き続き十分な検討が必要と考えます。

5 意見・要望等について

意見交換でいただいた意見・要望等については、各常任委員会で議論し、特に重要と思われる意見・要望については、執行部に伝達し、その内容はホームページに掲載します。

添付資料

- ① 令和3年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書（5テーマ「6班」）
- ② 令和3年度議会報告会・意見交換会アンケート集計

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

<p>テーマ</p>	<p>子育てしやすいデジタル社会について</p>
<p>担当議員名</p>	<p>吉野恭介、秋山智博、石田憲太郎、伊藤幾子、加嶋辰史</p>
<p>意見・要望等</p>	<p>1 課題・問題認識について</p> <p>(1) コミュニティの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルが子育てする訳ではない。親があり周辺環境の中で子育てはするモノなのでコミュニティという問題認識の視点は絶対外してはならない。 ・如何にデジタル化で便利になったとしても、アナログ的でないとやれない事、直接子どもと対面する時間を削って行く様では子ども達の育ちは保障されない。今後デジタル化はどんどん進むが、だからこそ余計にアナログ的なモノを大事にする意識をより強く持たなければいけない。 ・本日のテーマ「子育てしやすい」というのは親や大人からの視点。必ずしも子どもにとっていいなと思えない事もあるだろうという視点を持つ事も大事。 <p>(2) 世代間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる世代の方が周りにいるからこそ子育てがし易いのであり、そうした環境を応援するデジタル化であるべき。 <p>(3) 情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢山の情報が入手できるようになったが、情報の洪水の中で本当に欲しい情報を取捨選択して入手できるのか。デジタル化が却って子育てしにくい要因になっているのではないか。 ・鳥取市はかなり電子申請できる書類は整備されているのに周知されていない。 <p>(4) リモート（保育、教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のデジタル化を進める上で、ハード・ソフト面で家庭の負担を増やさない事 ・米子市も導入しているアプリ「母子モ」を鳥取市も上手く活用すべきではないか ・放課後児童クラブでICT活用を進めるべき <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを作ったけど使わないから行方不明になっ

た。多くの事業に活用できるよう整備して欲しい。

2 提案事項について

- (1) デジタル化を時間的な簡略化に使い、産み出した時間をアナログ的な大切な部分（子どもと対面など）に使う様な利用の仕方がデジタル化に相応しい。妊娠・出産・子育ての簡素化に活用し、メリットデメリットを洗い出す。
- (2) 子育てにおける行政手続きについて、何の書類を準備したら良いのか、どんな制度があるのか、手続きの済マークとか、次何をしなければならないとか・・・などアプリがあると助かる。有効な広報の役割にもなる。
- (3) デジタル情報とか必要で利用するのは子育てしている親御さん達。その親御さんが何に困っているのか聴いてアプリ開発者に開発して貰う。一人で悩みがちな子育ての解消につながる。祖父母や人生の先輩に尋ねていた事の補助的な役割がアプリで代用できる可能性もあるのでは。
- (4) 放課後児童クラブでICTの利用（職員と保護者間の連絡・情報共有）が進むと助かる保護者も沢山いるのではないか。
- (5) 心のケア（孤独・孤立）・人命を救う事に繋いだり取組の深堀りに繋げる事が出来たら、もっと用途が拡大し利用価値が見直されて行くはず。テレビ電話相談などの拡充に活かされるのではないか。
- (6) マイナンバーカードの制度を作ったからには多くの事業に活用できる様取組んで頂きたい。

議会図書室



発表



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	育児・保育の充実について
担当議員名	椋田昇一、星見健蔵、魚崎勇、足立考史、浅野博文、金田靖典
意見・要望等	<p>1 行政に対する意見</p> <p>(1) 「安心した子育てについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市の母子デイサービスやショートステイ、赤ちゃん訪問等の取り組みは評価できる。しかし、妊娠・出産支援の予算は減少している。この予算額で続けられるのか。 ・子育て不安が以前より良くなったが、まだ不十分。母親の孤独解消、育児サークルやこども食堂など、地域で子育てする取組や文化が大事。 ・学校で男性の先生が育休を取れば、子どもたちの理解につながり、その子どもたちが大人になったときに育休取得が自然なことになる。 <p>(2) 保育園の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の給与が低いので、公定価格を引き上げ待遇改善が必要である。 ・地域での子育てづくりを進めるうえで、地域の保育園に入園できることが大事だが、そうならない現状がある。 ポイント制に地域加算ができないか。 入所希望が第9希望までであり、申請は現実的ではなく、「待機児童なし」とはいえない。 ・家庭から就学までに空白が生まれるので希望する園に入れるように。 <p>2 社会・会社に対する意見</p> <p>(1) 職場の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを応援する会社づくり 女性の生理や体の変化など健康についての理解がまだ不十分。 子どもの病気による休暇対応など、働きやすい職場づくりを。 人件費補助など働きやすさの取組を行政が支援できないか。 ・議員から、経営者も理解はしているつもり・・・ 具体的な支援策を考える際に、経営者からも意見を聞くことが

	<p>必要ではないか。</p> <p>(2) 育休について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 育休後にスムーズに復帰できるように。・ 育休復帰から小学校入学まで、地域での子育てづくりが大事。 女性の健康、孤立させない、公民館事業など、地域のつながりを。 <p>楽しい、うれしいと感じられる子育てが大事で、そうならばもう一人産もうとなり、少子化対策となる。</p>
--	---

第1委員会室



発表



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	放課後児童クラブの充実について
担当議員名	砂田典男、西村紳一郎、横山明、長坂則翁、岩永安子
意見・要望等	<p>1 2人の支援員から現状や要望を聞く。</p> <p>(1) 施設面について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室の壁を改修して広くして使ったらどうかといわれ、要望を挙げたが、防火壁になっており改修困難と判明。その後別棟の家庭科室を借りれるという事だが、場所が離れており支援員もさらに必要と運営が困難。 ・体育館が広くて遊べるということだが、今年の1・2月は寒くて大変だった。 ・新しく学校は整備されるが、放課後児童クラブの専用室が作られるわけではない。 ・Wi-Fiの環境がないので整備が必要。環境の整った施設とそうでない施設と差がある。 ・長期休業の利用の時、境港鬼太郎ロードに出かけようと計画したが、市のバスあれば借りたい。→市のバスはない。 <p>(2) 指導員の待遇面について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省の基準はあるが、それぞれのクラブによって違う。親の負担をあげれば賃金もあがる。働く時間も違う。 <p>2 「新しく児童クラブを作りたいという申し出をするが、放課後児童クラブの待機児童はいない、つまり施設は足りているといわれ、新規参入できていない」という方が参加。ボランティアの学生や卒業後就職を希望する学生も生まれ人材が確保でき、体制が整ってきた。新規参入と合わせて、放課後児童クラブのネットワークを構築してもらい情報共有して、既存クラブと連携をとって、豊かな放課後の保障のために、利用者確保ができればという要望が出された。</p> <p>「40名以上になれば分割する」ということになっている。平時は39名だが、夏休みは50名ちかくになるという実態も出された。</p>

- 3 情報交換や指導員の研鑽のため、市は研修の機会をもっと増やしてほしいと要望が出された。
支援員のスキルアップを目指すため、鳥取県放課後児童クラブ連絡協議会へ全クラブが参加し、研修ができる体制の整備をしてほしい要望が出された。

全員協議会室



発表



令和3年11月4日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	放課後児童クラブの充実について
担当議員名	上杉栄一、岡田信俊、加藤茂樹、上田孝春、平野真理子
意見・要望等	<p>○指導員不足の解消をいかに図るかが問題点である。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域によって格差があるという現状。・大学生ボランティアや地域の高齢者の協力を得てはどうか（移動手段をどう解消するか）・利用者数に対しその場所の不足をどうするか。・衛生上の問題を解消し、読書に親しませるなどしてほしい。・指導員さんらには多くの研修等を受けていただいておりますが有難く感じる。給与等の改善が必要と考える。

第2応接室



発表



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

<p>テーマ</p>	<p>G I G Aスクール構想の取り組みについて</p>
<p>担当議員名</p>	<p>寺坂寛夫、朝野和隆、米村京子、前田伸一、太田縁</p>
<p>意見・要望等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入学したばかりの学生のなかには、人により各々 I C Tシステムに関する基礎知識に偏りがある。 特に新学期は、大学教員も慣れていない先生があり、学生も教員も混乱している感を否めない。学生の中にはリモート授業に対応できず、どのように対処して良いか、友人もまだできていないので、聞く相手もおらず、苦勞した学生もいる。 このように若い世代にもデジタルデバインド (Digital Divide=情報格差) が見られる。 加えて、セキュリティ対策が重要であり、その管理能力にも格差がある。特に情報リテラシー能力 (必要とされる情報を“効率的”に(1)探し出し、(2)精査し、それを(3)使うことができる能力) の格差がG I G Aスクールを促進していく中で大きな課題である。 情報モラル、プライバシーに関することとセキュリティ管理についての配慮は不可欠である。 ・ 小中学校においてはタブレット端末を配布することのみに注力しているように思う。 タブレットを効果的に使う教員が必要で格差が生まれてしまう懸念がある。 I C Tを活用した情報提供は、例えば都市部と山間部などの地域の条件に関係なく、どこでも平等に提供することができる。 また、年齢によって、使える範囲を制限するなどの工夫を加えると学年に合った教育が可能となる。また、チャットなどを利用したいじめなどを防ぐためには別途対策を講じる必要があるのではないか。 ・ 端末貸し出し時に端末利用に関連するモラル教育、プライバシーに対する配慮とセキュリティ対策の必要性とその方法をしっかり伝えることが必要であり、加えて貸し出し端末にはセキュリティ対策を施す必要がある。 これらについて先ず、専門家による教員の指導が必要で、これを急いで行う必要がある。 教育現場で I C Tの普及を推進していくためには、学校現場において

I C T環境のハード整備の強化が急がれる。また、個々の学校にネットワークなどの通信トラブルに対応できる専門家（S E等）の配属が必要だと感じている。

高校入学時には端末（P C・タブレット等）の購入費やポケットW i - F iの費用（個人の通信費）など、学校教育におけるI C Tの普及により家庭への負担も増えることが予想されるのでこのことに配慮し、負担が過大とならないよう対策を講じて欲しい。

I C Tの普及にはまずは実践すること（実際に使う）ことが有効だと思う。学校による格差が生まれないように、専門家を配属、または派遣すべきだと考える。そのための予算も確保すべきだと思う。

実践の事例として、複数の学校間でリモート交流を行うなどの工夫もできる。以前、小学校の授業で近くの高校生がI C Tについて教えてくれた経験がある。鳥取市においても、このような取り組みを行ってはどうか。他分野（スポーツ）等ではすでに実施されているという。さらには小学生が地域の高齢者と一緒に操作するなど、I C Tというツールを利用して様々な交流することができるのではないかと。是非このような取り組みを行って欲しい。

第2委員会室



発表



「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	公園整備について
担当議員名	雲坂衛・吉田博幸・山田延孝・荻野正己・勝田鮮二
意見・要望等	<p>1 安全なルールの表示について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園で、行って良いこと、行ってはならないこと。 (例えば) スケボー・野球の練習やキャッチボール・サッカーの練習・小さな子どもの自転車の練習・バーベキュー等 ・誰が管理しているのか。連絡先など。 ・小さな子どもが、より安全に使用できるように、ルールをつくる。(場合によっては町内会等との調整要) ・一律にルール化するのではなく、抑止力になれば良い。 <p><要望></p> <p>大・小規模にかかわらず、公園ルールや管理者の表示看板を設置してほしい。</p> <p>2 樹木の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の樹木により下を通っただけで、かゆみ・かぶれの健康被害がでている。(特に、椿や山茶花)(茶毒蛾・毛虫など) ・指定検査員が植物を熟知しているか。 ・講習の中に植物の選定が入っているのか。 <p><要望></p> <p>公園の定期検査に樹木の選定も加えてほしい。 また、各公園に健康被害の樹木が植えてあるか、調査して撤去してほしい。</p> <p>3 子どもの集まるバス停について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな歩道、小さな路地があり、学校の登下校において待っている児童・生徒の危険度がある。 <p><要望></p> <p>各路線の調査をして、安全なバス停をつくってほしい。</p>

4 公園の質の向上について

- ・赤ちゃん、小さな子どもを連れた保護者の姿をよく見るが、おむつの交換台や授乳の場所がない。
- ・大規模、小規模にかかわらずトイレが無く困っている。

<要望>

遊具があり子連れのファミリー層が集まりそうな公園には、おむつの交換台や温便座、ウォッシュレット等の高機能トイレの整備を積極的に取り組んで頂きたい。

全員協議会室



発表



参加者アンケートの集計結果について

Q1 参加者について

1. 性別	男性	女性	回答しない							
	9	10	0							
2. 年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上			
	1	6	1	4	3	3	1			
3. 地域	鳥取	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	未記入
	14	2	0	1	0	0	0	1	0	1

Q2 会議について

1. 開催場所	良い	悪い	どちらともいえない	未記入
	18	0	0	1
2. 開催時間帯	良い	悪い	どちらともいえない	未記入
	17	1	0	1

Q3 議会報告会について

1. 時間の長さ	ちょうど良い	短い	長い	未記入
	16	1	0	2
2. 内容	分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	未記入
	11	1	4	3

3. お気づきの点
- ・テーマ別の報告部分は、テーマ別意見交換において参考になった
 - ・もう少しテーマを絞り質疑応答の時間をとってほしい
 - ・市議会の活動を知ることができ、大変参考になった
 - ・要点がまとめてあり理解できた
 - ・短い説明だったが様々な気づきがあった
 - ・資料にもとづき分かりやすかった

Q4 意見交換会について

1. 時間の長さ	ちょうど良い	短い	長い
	11	8	0
2. 進行	良い	悪い	どちらともいえない
	15	1	3
3. テーマ	良い	悪い	どちらともいえない
	17	0	2

4. お気づきの点

- ・もう少し議論の時間が長くても良かった
- ・全体のまとめの時間も欲しかった
- ・参加者に事前に意見を尋ねることで時間短縮ができる
- ・最後のまとめ報告は必要なく、各テーマごとに深めて終了でも良い
- ・事前提供資料が有っても良い
- ・議員に情報収集・下調べをしていただきたい
- ・まとめて発表してくれた鳥大生、優秀だった
- ・議員が多角的に、とりまとめて話してくださりとでも勉強になった
- ・テーマを絞ったことで前提が出来上がり、進みやすくわかりやすいものと感じた
- ・テーマが広すぎるため、焦点を絞りつつ意見を言っていく形にしていきたい
- ・出た意見について、今後継続的に深掘りできる機会があると良い
- ・様々な視点で課題についての提案や話が聞け、話げできた
- ・詳しい話が聞け学びがあった
- ・とても良い意見交換ができた
- ・議論が盛り上がり大変有意義に感じた
- ・日頃、聞くことのできない鳥取市の取り組みを聞けて良かった
- ・若者の意見を聞くことができ、今後の自分の職の実践に生かしていきたい
- ・参加者がそれぞれ違う立場であり、違う目線での意見を知ることができた
- ・いろんな意見を聞け、自分自身への成長にもつながった
- ・参加することができてよかった

Q5 市議会だよりについて

	(人)	(割合)
①よく読む	3	16%
②必要な部分だけ読む	9	47%
③あまり読まない	4	21%
④まったく読まない	1	5%
未記入	2	11%

Q6 市議会だよりに対するご意見・ご要望について

- ・質問・答だけでなく、その後の対策など具体的に教えていただきたい
- ・関心のない人が関心をもてるようにユーモアある市議会発信をしてはどうか
- ・レイアウトの工夫、フォントの工夫で読みたい市議会だよりになる
- ・多くの市民が市政にすこしでも興味をもつ工夫を常にすべき
- ・表紙が良い
- ・市の明るくなる話題が載っていて毎回楽しみ
- ・意見交換会に参加し、市議会の取り組みに非常に関心を持った
- ・構想や制度に関する説明が図化されたりしていると見やすい
- ・議会で話し合われ、新しく取り入れられた市民に有益な情報を発信していただきたい
- ・事業についてわかりやすく説明するコラムがあると良い
- ・「若者定住」の取り組みの情報が知りたい
- ・議会報告会・意見交換会の後の進みなどが分かるような市議会だよりを作り、送ってほしい

- ・ 議会報告会・意見交換会を年2～3回開催していただきたい
- ・ 議会報告会・意見交換会の開催広報に工夫が必要ではないか
- ・ 意見交換のテーマに関係する企業・団体・コミュニティへの直接呼びかけなど周知の工夫が必要ではないか
- ・ 意見交換会をより広めて、また違うテーマでも開催していただきたい
- ・ 令和2年度は学生のみ意見交換だったが、やはり参加者が開かれているのは良い
- ・ 話をしっかり届けたい市民が参加され、議員が話をしっかり聞き、とても充実した有意義な時間だった
- ・ 参加すればとても楽しく学びになった
- ・ 議員と話をすることで議会を身近に感じ、より市政、市議会に興味を湧いた
- ・ 若者の参加がとてもよく、鳥取市の未来に期待が持てた
- ・ 意見交換会を毎年開催していると知り、鳥取市議会が「開かれた議会」であると感じた
- ・ 今後も参加させていただきたい
- ・ 意見交換会の存在を初めて知り、このような機会はとても重要だと感じた
- ・ 各自が関心のあるテーマについて意見交換を行ったことで、より詳細な話し合いができた
- ・ 「地域と教育」のことについて意見交換をしたい
- ・ 今後も市議会と関わることが出来たらうれしい
- ・ 既存の概念にとらわれず柔軟な施策を講じ、市民のより住みやすい環境づくりをお願いする